

## 研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者<sup>※</sup>の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<p>&lt;研究課題名&gt; 円錐角膜に対する<b>角膜実質移植</b>の治療効果に関する観察研究</p>
<p>&lt;研究機関・研究責任者名&gt; 日本大学医学部附属板橋病院 眼科 (研究責任者) 林 孝彦</p> <p>&lt;共同研究機関・研究責任者名&gt; きくな湯田眼科 (研究責任者) 湯田 健太郎 横浜南共済病院 (研究責任者) 水木 悠喜 南青山アイクリニック (研究責任者) 加藤 直子 京都府立医科大学附属病院 (研究責任者) 北澤 耕司</p>
<p>&lt;研究期間&gt; 承認日 ~ 令和 11 (西暦 2029) 年 3 月 31 日</p>
<p>&lt;対象となる方&gt; 承認日~2028年12月31日の期間に研究機関及び共同研究機関で<b>角膜実質移植</b>の治療を開始された方</p>
<p>&lt;研究の目的&gt; 円錐角膜とは、角膜の中央部分の厚みが薄くなり、角膜が前方へ円錐状に突出する病気です。18歳以上の中等症から重症の円錐角膜に該当する方について、<b>角膜実質移植</b>の術後の視力、角膜のカーブ、角膜厚などの様々な臨床データを評価することを目的としています。<b>角膜実質移植</b>は、クロスリンクングでは適応外となる角膜菲薄化が進行した円錐角膜に対して施行され、その進行を抑制していることが報告されています。そのため本研究を実施し、<b>角膜実質移植</b>の経過を明らかにすることで、今後の治療に役立てられると考えられます。</p>
<p>&lt;研究の方法&gt; 電子カルテ上の臨床データの評価をします。取得した情報は個人が特定できないようにし、個人情報が漏れない形で、学会や論文発表に利用する場合があります。</p>
<p>&lt;研究に用いる試料・情報の項目&gt; 角膜形状解析結果、視力検査結果、年齢、性別、診療記録を電子カルテから匿名化して取得します。</p>
<p>&lt;お問い合わせ窓口&gt; &lt;研究機関&gt; 日本大学医学部附属板橋病院 (東京都板橋区大谷口上町 30-1) 眼科 氏名: 林 孝彦 電話: 03-3972-8111 内線: (医局) 2531 (PHS) 8631</p>

<共同研究機関>

きくな湯田眼科（神奈川県横浜市港北区菊名 4-3-11）

眼科 氏名：湯田 健太郎

電話：045-435-3755

横浜南共済病院（神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-21-1）

眼科 氏名：水木 悠喜

電話：045-782-2101

南青山アイクリニック（東京都港区北青山 3-3-11 ルネ青山ビル 4F）

眼科 氏名：加藤 直子

電話：03-5772-1451

京都府立医科大学附属病院（京都府京都市上京区河原町通広小路上る梶井町 465）

眼科 氏名：北澤 耕司

電話：075-251-5111

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方